

行動変容プログラムの推進

骨粗鬆症対策 / ロコモ予防(フレイル予防を含む)

地方独立行政法人 大阪健康安全基盤研究所

大阪府循環器疾患予防研究委託業務

事業名	概要
府民の健康づくりを支援するシンクタンク機能	健康づくり施策の企画立案等に必要な基礎データやエビデンスの提供、蓄積された循環器疾患対策に関するノウハウを活用するなど、健康づくりに関するシンクタンク機能を果たす。
健診・保健指導・医療レセプト等データ分析	NDB等データを分析し、地域の健康医療にかかる課題を明らかにし、大阪府や市町村における健康づくり事業等の企画立案を支援する。
循環器疾患と危険因子のモニタリング研究	循環器疾患発症及びその危険因子の状況を継続してモニタリングし、社会変遷に伴い浮上する健康上の問題点を検出、及び研究によるさらなる健康増進要因を解明する。
行動変容プログラムの推進	市町村の健康・医療にかかる課題を明らかにし、課題に対応する理想的な取組み（汎用性の高い行動変容プログラム）を提言するとともに市町村の実践を支援する。 【取り組みテーマ】 特定健診、特定保健指導、禁煙支援、高血圧対策、糖尿病対策 骨粗鬆症対策、ロコモティブシンドロームの予防

◆詳細はHP (<https://www.iph.osaka.jp/s016/050/051/progress.html>) をご覧ください。

本日の報告事項

- 事業の概要
- 令和7年度の実施内容
- 令和7年度の実施結果
- 令和8年度の予定
- 今後の目標など

骨粗鬆症対策(骨粗鬆症検診・骨密度測定)
について

事業の概要 - 目的(1)

- 大阪府内の市町村に関係するデータを分析して、府内市町村の健康・医療に係る課題を明らかにし、課題に対応する理想的な取組み（汎用性の高い行動変容プログラム）の提言と市町村の実践を支援する。
- 市町村の既存の保健事業等の内容を踏まえ、大阪府健康増進計画の指標改善を目的に、性別、世代別の取組み例を示した具体性のあるプログラムをR6～8年度の3か年で取りまとめる。

〔R6年度〕

- 市町村の取組みについての現状を把握する。プログラム案を作成し、提示する。

〔R7年度〕

- モデル市町村を選定。
- プログラム案をモデル的に実施し、効果測定を行う。

〔R8年度〕

- R6～7年度の取組みを踏まえ、プログラムをとりまとめる。

事業の概要 - 目的(2)

【骨粗鬆症対策】

- 市町村が骨粗鬆症に関する情報発信や既存事業を活用することにより、住民/対象者が自身の骨量の状態を把握でき、骨粗鬆症予防に必要な支援（保健指導、治療等）を受けることができる。把握や支援の実施体制が整備されることで、骨粗鬆症予防のための取組みが普及していく。
- 骨粗鬆症検診受診率の向上（目標15%）をめざす。

【ロコモ予防】

- 予防事業を通じて、ロコモ（フレイルを含む）に関する正確な知識を持つ者、さらに自身の身体機能の状況や機能低下を防ぐ方法を知る者が増え、住民/対象者のロコモ（フレイルを含む）の認知度や理解度が向上する。また、事業後に運動を継続することができる事業やサービスが整えられ案内周知されることにより、住民/対象者の運動習慣がより望ましく変化していく。

事業の概要 – これまでの経過

詳細は各年度の報告書をご参照ください。

年度	実施対象と内容	実施内容の詳細
平成22年度～ 令和5年度	モデル実施や市町村ヒアリング等を通して、汎用性の高い行動変容プログラム(第一期)を開発、提示した。	<p>特定健診の受診率向上 特定保健指導の実施率向上 特定健診・がん検診などの保健事業の場における禁煙支援 高血圧対策 糖尿病対策</p> <p>➤ 上記5テーマについて、汎プロ第一期として実施</p>
令和6年度	汎用性の高い行動変容プログラム案(第二期)の検討、提示	<ul style="list-style-type: none"> ● 「骨粗鬆症検診の受診率向上」、「骨粗鬆症対策のさらなる充実」、「ロコモ予防(フレイル予防を含む)」の3つのプログラム案を開発 ● 骨粗鬆症対策、ロコモ予防に関する市町村の取組実態の把握(市町村アンケート)を実施
令和7年度	汎用性の高い行動変容プログラム案(第二期)の効果検証	<ul style="list-style-type: none"> ● R6年度に引き続き、市町村の取組実態の把握(市町村アンケート)を実施 ● プログラム案の効果検証のためのモデル実施(府内市町村にて)

令和7年度の実施内容

- 骨粗鬆症対策・ロコモ予防(フレイル予防を含む)について、市町村のR6年度取組状況をアンケート調査した。
(骨粗鬆症対策・ロコモ予防に関する取組実態把握のアンケート調査)
- モデル市町村を選定。汎用性の高い行動変容プログラム(第二期・案)をモデル的に実施し、効果測定を行った。



アンケートにご回答いただいた各市町村のご担当の皆様
モデル実施にご協力くださった自治体(大阪市健康局、田尻町健康課)関係者の皆様
感謝申し上げます。



令和7年度の実施内容 – 実態調査

- 大阪府内の市町村の保健事業の取組実態の把握や、進捗状況の経年的な見える化のため、また、好事例を収集し、市町村の保健事業への支援に活かすことを目的に実施した。
- 調査の概要は以下（表）。

項目	内容
目的	大阪府内市町村の骨粗鬆症対策、口コモ予防の取組状況の実態把握
対象	市町村健康増進事業担当課 (国民健康保険担当課等との調整による回答も含む)
調査名	【2025年度実施】R6年度_骨粗鬆症対策・口コモ予防に関する取組実態把握の調査
期間	2025年7月15日～2025年8月8日 [最終確認期限：2025年12月末]
方法	<ul style="list-style-type: none">• アンケート回答様式 (Excelファイル) をメールに添付し、市町村担当課へ送信• メールにて大阪健康安全基盤研究所疫学解析研究課へ提出
回答状況	府内全43市町村 (回答率：100.0%)

行動変容プログラムの推進 〔骨粗鬆症対策〕

令和7年度の実施結果

1. 骨粗鬆症検診・骨密度測定についての取組状況
2. モデル実施（大阪市）
3. 汎用性の高い行動変容プログラム(第二期・案)の検討内容

実態調査の内容

詳細は、R7年度報告書をご確認ください。

- 実施の有無、実施体制
- 普及・啓発、受診勧奨の方法
- 検診・測定後の対応(結果説明、保健指導)
- 既存事業の活用状況
- 医師会など関係機関との連携の状況
- 費用負担
- 管理、評価方法など

「骨粗鬆症検診」	:	健康増進事業の実施要項で示されている対象への実施
「骨密度測定」	:	「骨粗鬆症検診」以外の骨粗鬆症対策の取組み
「実態調査の結果」	:	府内市町村の状況を示すため、アンケート回答のある市町村(全43)を分母として集計

→「骨粗鬆症検診」、「骨密度測定」について、各市町村でどのような取組みを行っているかを把握するため、これらを回答いただいた。

【報告書掲載ページ】

<https://www.iph.osaka.jp/s016/050/051/report.epiana.html> (令和7年度「行動変容プログラムの推進」報告書)

詳細は、R7年度報告書をご確認ください。

取組状況(R6年度)

- 「検診」、「測定」が未実施の市町村はあるが、実施市町村は増加。
- 個別の受診勧奨、他のけんしんやイベントなどでの声掛けは一部の市町村で実施されている。
- 広報誌等での普及・啓発は多くの市町村で実施されている。
- 「検診」、「測定」を実施している市町村では、その後の結果説明や保健指導を行う市町村が多い。
- がん検診や特定健診とあわせて実施する市町村がある。
- 「申込不要」、「自己負担なし」の体制の市町村はまだ多くはない。
- 「**検診**」と「**測定**」で取組状況の傾向に差があり、骨粗鬆症対策の推進に向け、他の事業等との優先度も踏まえた効果的な取組みの検討が必要である。

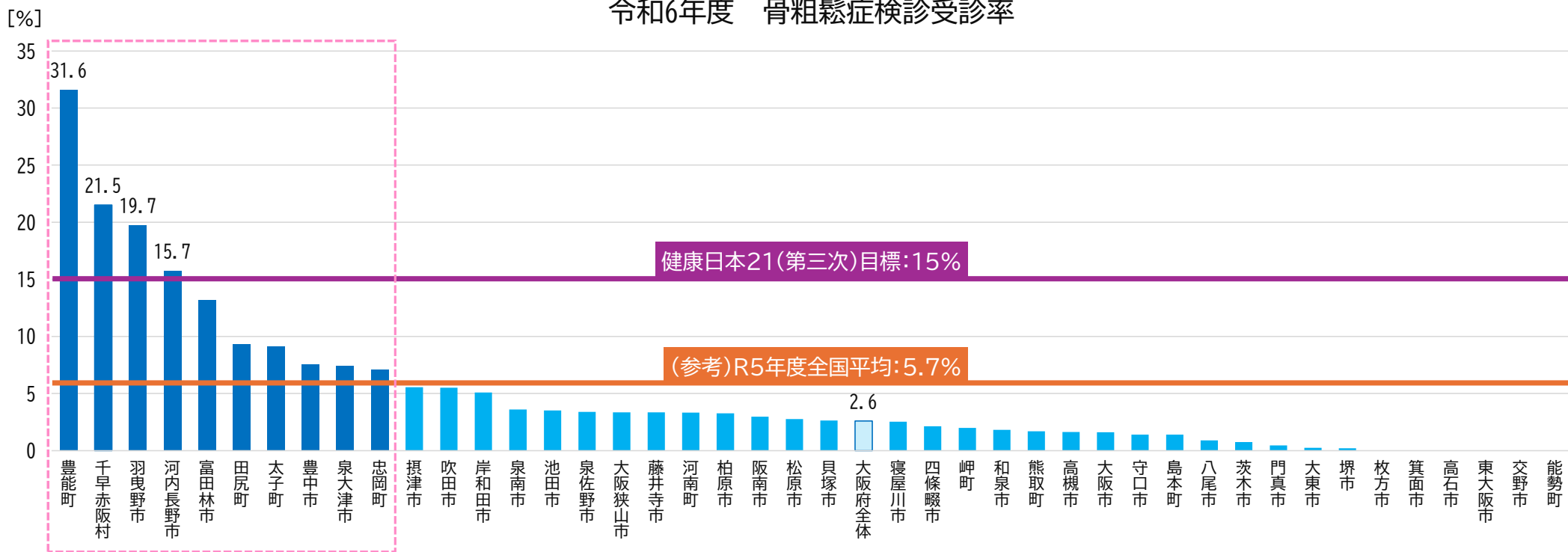
詳細は、R7年度報告書をご確認ください。

取組状況(R6年度)

- 「検診」、「測定」が未実施の市町村はあるが、実施市町村は増加。
個別の受診勧奨、他のけんしんやイベントなどでの声掛けは一部の市町村で実施されている。
- 広報誌等での普及・啓発は多くの市町村で実施されている。
- 「検診」、「測定」を実施している市町村では、その後の結果説明や保健指導を行う市町村が多い。
- がん検診や特定健診とあわせて実施する市町村がある。
- 「申込不要」、「自己負担なし」の体制の市町村はまだ多くはない。
- 「検診」と「測定」で取組状況の傾向に差があり、骨粗鬆症対策の推進に向け、他の事業等との優先度も踏まえた効果的な取組みの検討が必要である。

骨粗鬆症検診 受診状況

令和6年度 骨粗鬆症検診受診率



- 大阪府提供:「感染症予防事業費等国庫負担(補助)金(健康増進事業)事業実績書(一部抜粋)」より作成
- 全国平均:公益財団法人骨粗鬆症財団調べ2023年よりhttps://www.jpof.or.jp/Portals/0/pdf/screening_rate/screeningrate_2023.pdf

検診受診率と取組状況の比較

- 骨粗鬆症検診受診率上位市町村とそれ以外で、取組状況の割合を比較した。
 - 上位10市町村：豊能町、千早赤阪村、羽曳野市、河内長野市、富田林市、田尻町、太子町、豊中市、泉大津市、忠岡町
 - 上位以外；28市町村（骨粗鬆症検診未実施の5市町村を除く）



	上位 (10市町村)	上位以外 (28市町村)
個別の受診勧奨の実施あり	7 (70.0%)	10 (35.7%)
本人申込	5 (50.0%)	26 (92.9%)
申込不要	3 (30.0%)	3 (10.7%)
検診費用の自己負担なし	4 (40.0%)	7 (25.0%)

先行事例

- 「骨粗鬆症検診を実施している自治体の実地調査」より
 - 骨粗鬆症検診を単独で考えるのではなく、他の検診と連携して包括的に実施
 - 検診受診の金銭的負担の軽減（無償化）
 - 骨粗鬆症検診の方法・流れの標準化
- 愛知県名古屋市の取組みより
 - 検診の自己負担なし
 - 対象年齢の女性へ無料クーポン券を送付
 - 協力医療機関での検診ご案内ポスターの提示
 - 骨粗鬆症検診をはじめ、がん検診等各種検診を名古屋市医師会に委託しており、800以上の会員医療機関が市の骨粗鬆症検診の協力要請に承諾いただいていることから、受診者個人が日時・医療機関を自由に選択できる。

大阪府内の個別事例 [アピールポイントや取組内容より]

- 吹田市 … 検診協力医療機関が多く、受診しやすい。
- 羽曳野市 … 今後医師会との連携をさらに図り、検診実施医療機関の拡大を目指す。
- 富田林市 …
 - かかりつけ医のところで特定健診や大腸がん検診と同時に受けることができる。
 - 市内実施医療機関が多い。
- 大阪狭山市 … 一部の対象年齢への個別の受診勧奨を開始し、その対象年齢層の受診率が上昇傾向。
- 茨木市 … 巡回子宮がん・乳がん検診の受診時にスギ薬局の協力のもと骨密度測定実施している。
- 泉佐野市 …
 - 健康イベント時に他課や企業の協賛で実施している。
 - 骨粗鬆症検診受診でインセンティブあり。(健康マイレージが500ポイント、貯めたポイントは泉佐野市の地域ポイントに交換して利用できる。)
- 大阪市 …
 - イベントでの骨粗鬆症検診の実施あり。
 - がん検診との同時実施、土日祝日の健康イベントにおける併設(予約不要)。

関係機関連携
(医師会・医療機関)

既存事業を活用した検診機会の設定

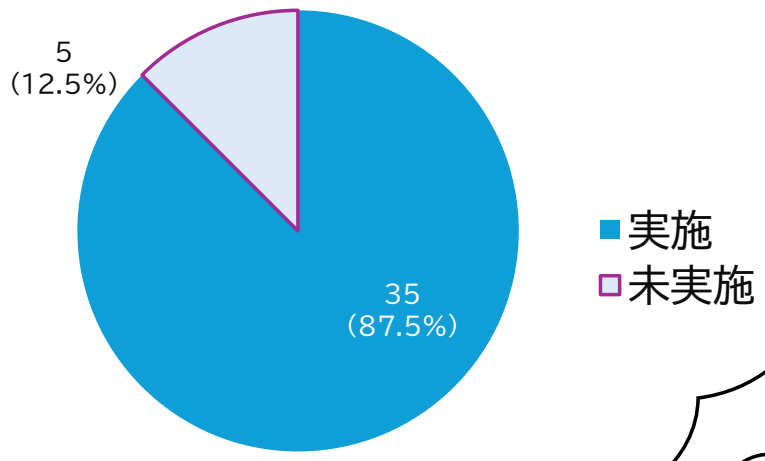
個別の受診勧奨

既存事業を活用した検診機会の設定

関係機関連携
(地域、職域、産学官)

モデル市町村を考えるにあたり…

令和5年度 骨粗鬆症検診実施状況
(大阪府内40市町村)



- 骨粗鬆症検診を未実施の市町村で行う？
- 骨粗鬆症対策での課題を感じている市町村と一緒に？

…市町村側の負担が大きい

すでに実施しており、既存事業の活用ができ、骨粗鬆症対策の実施の進展ができることを目的としてモデル実施を行う



大阪市に、モデル実施の協力をお願いしました。



お知らせ

大阪市骨粗しょう症検診について

検診内容

定量的超音波測定法（QUS法）

無料
検査は数分程度
痛くない！

測定は、はだで行います。ストッキング・タイツ等の着用はご遠慮ください。

- 超音波を使って、かかとの骨量を測定します。
- 自分の骨の状態を知ることにより、骨粗しょう症の予防や治療に役立てることができます。
- 検査は数分程度で、結果は当日にお渡しします。



大阪市より伺った状況

- 健康寿命の延伸のため、要介護の要因となる骨粗鬆症対策の必要性を感じている。（女性の要介護の原因第1位）
- 骨粗鬆症検診は各区保健福祉センターで実施し、個別の医療機関では実施していない。
- 骨粗鬆症の要精検者の受診勧奨等に課題がある。
- 10/20の世界骨粗鬆症デーでの啓発（ライトアップなど）を実施している。

大阪市 - 骨粗しょう症検診を受けましょう

<https://www.city.osaka.lg.jp/kenko/page/0000026192.html> (2025/11/12閲覧)

モデル実施（大阪市） - 内容

詳細は、R7年度報告書をご確認ください。

(1) 要精検・要治療者への受診・受療勧奨

要精検者への精検受診再勧奨として、通知文書の更新。更新内容を大阪市・大安研で検討。

★(2) 個別の受診勧奨

SMSによる骨粗鬆症検診の受診勧奨を実施。SMSの文面を大阪市・大安研で検討。既存の事業の活用として、過去にがん検診を受診したことのある人を送信対象とした。

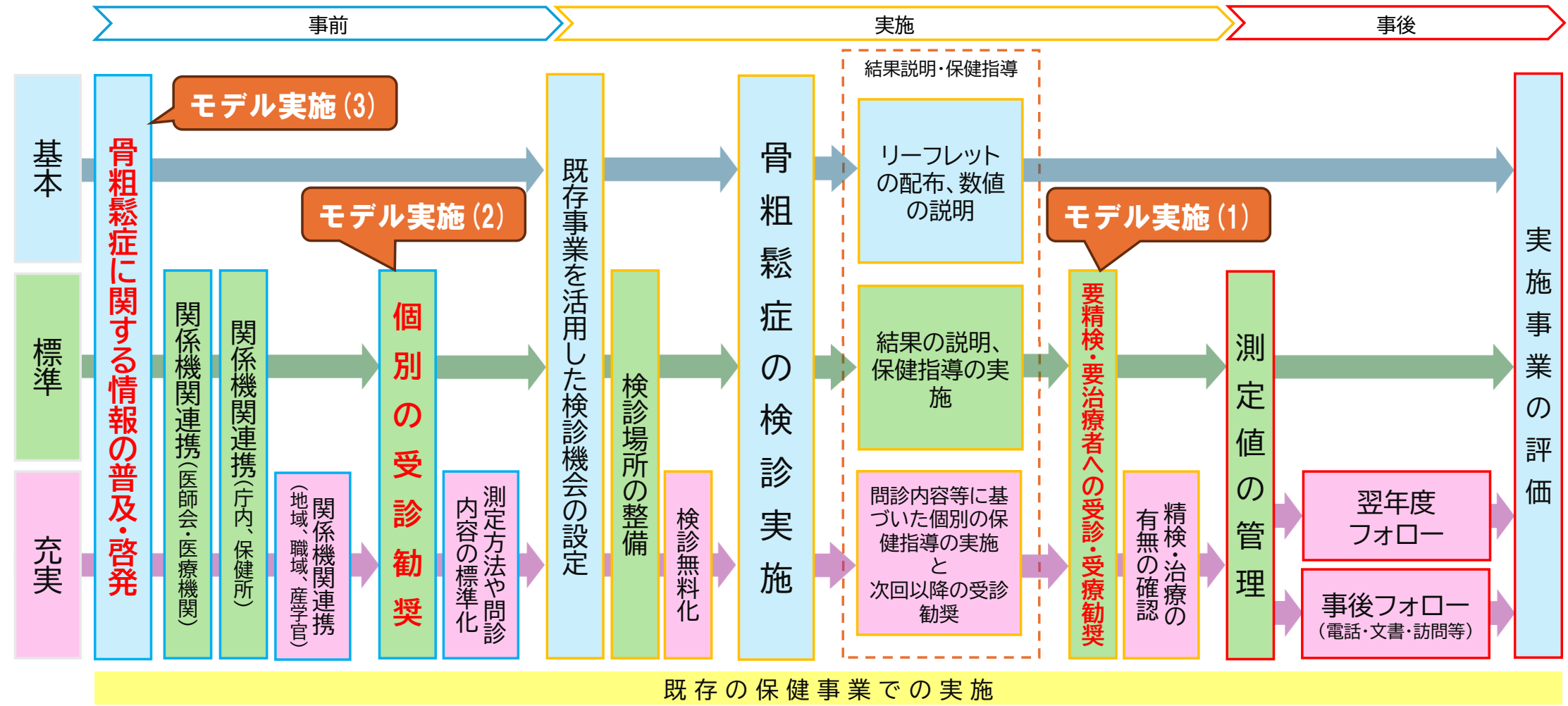
(3) 骨粗鬆症に関する情報の普及・啓発

新規啓発媒体（のぼり、ポスター）を大阪市が作成し、各保健福祉センターでの使用を行い、その効果を検証する。

【R8年度の予定】

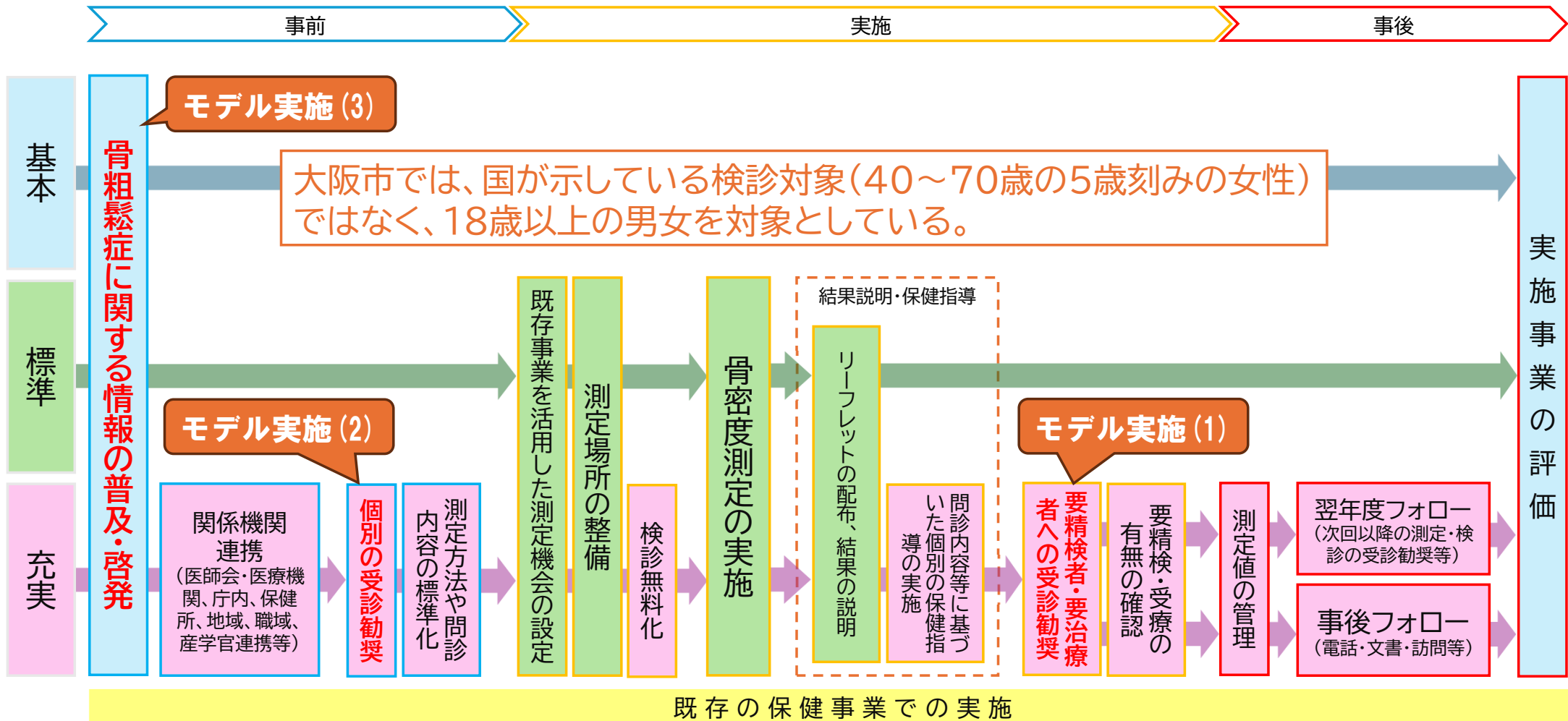
- R7年度の骨粗鬆症検診の受診率などを評価
- 骨粗鬆症対策の取組みを今後さらに進めるにあたっての課題等の検討

汎用性の高い行動変容プログラム(第二期)
骨粗鬆症対策 - 骨粗鬆症検診の受診率向上 [案]



大阪市モデル実施項目

汎用性の高い行動変容プログラム(第二期)
骨粗鬆症対策 - 骨粗鬆症対策のさらなる充実 [案]



汎用性の高い行動変容プログラム(第二期)案 の実施予定内容と各年度スケジュール

令和6年度～令和8年度の3か年度で、「現状把握」、「効果的な取り組み推進につながるプログラムの検討」、「プログラムの提案、実施の推進と、取り組みの効果検証」を行う。

〔R6年度〕

- 市町村の取り組みについての現状を把握する。プログラム案を作成し、提示する。

〔R7年度〕

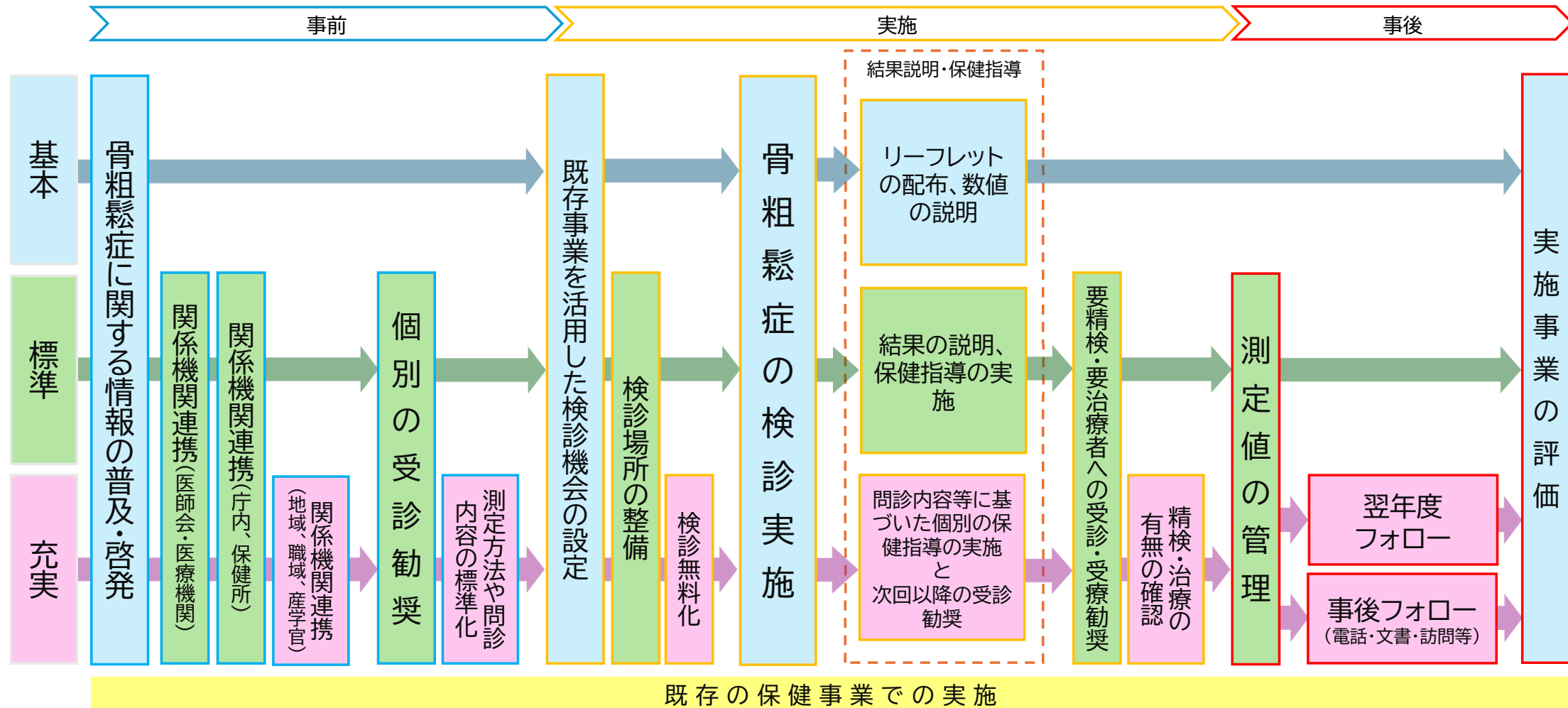
- モデル市町村を選定。
- プログラム案をモデル的に実施し、効果測定を行う。

〔R8年度〕

- R6～7年度の取り組みを踏まえ、プログラムをとりまとめる。

汎用性の高い行動変容プログラム(第二期)
骨粗鬆症対策 - 骨粗鬆症検診の受診率向上 [案]

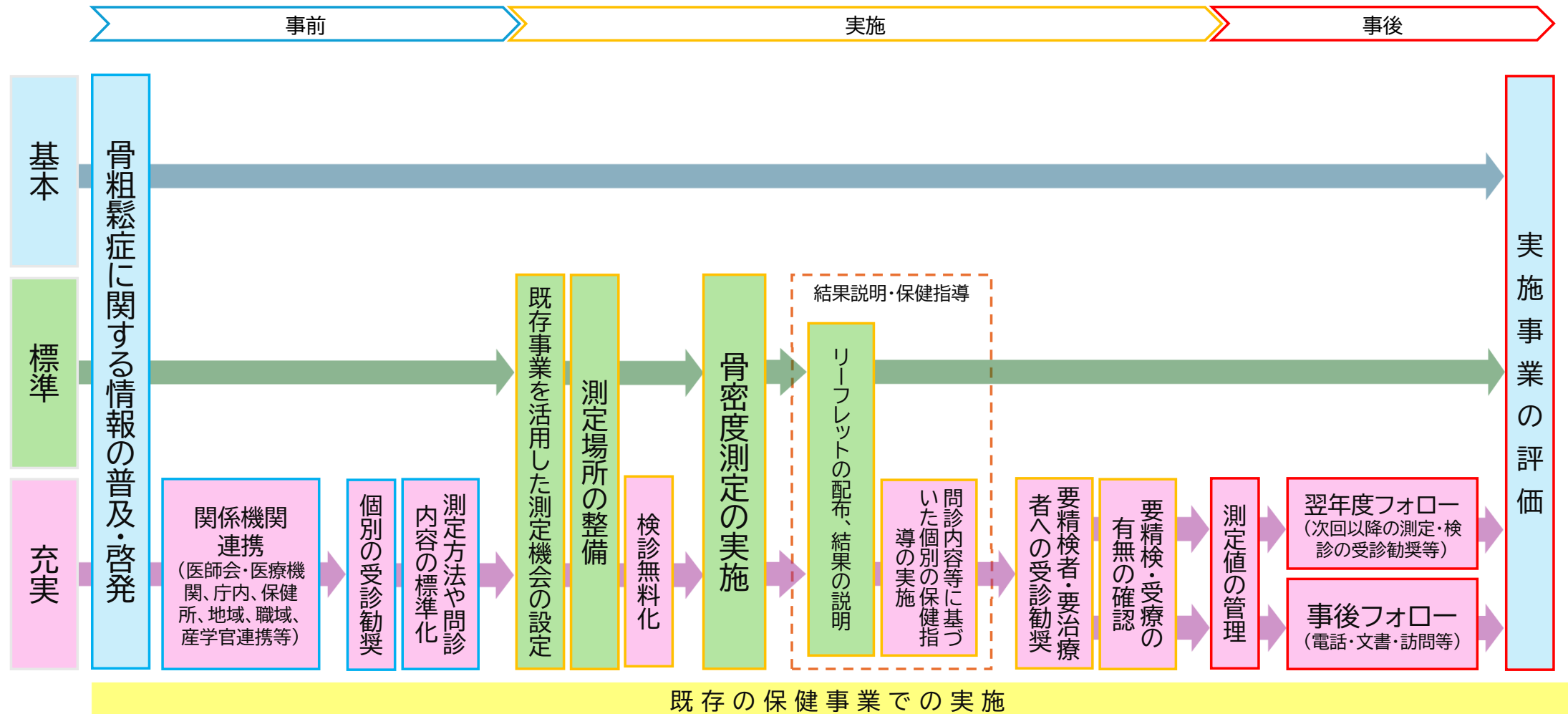
※ R6年度に提示した内容から更新なし



資料6、または、詳細を「行動変容プログラムの推進事業令和7年度報告書」にてご覧ください。

汎用性の高い行動変容プログラム(第二期)
骨粗鬆症対策 - 骨粗鬆症対策のさらなる充実 [案]

※ R6年度に提示した内容から更新なし



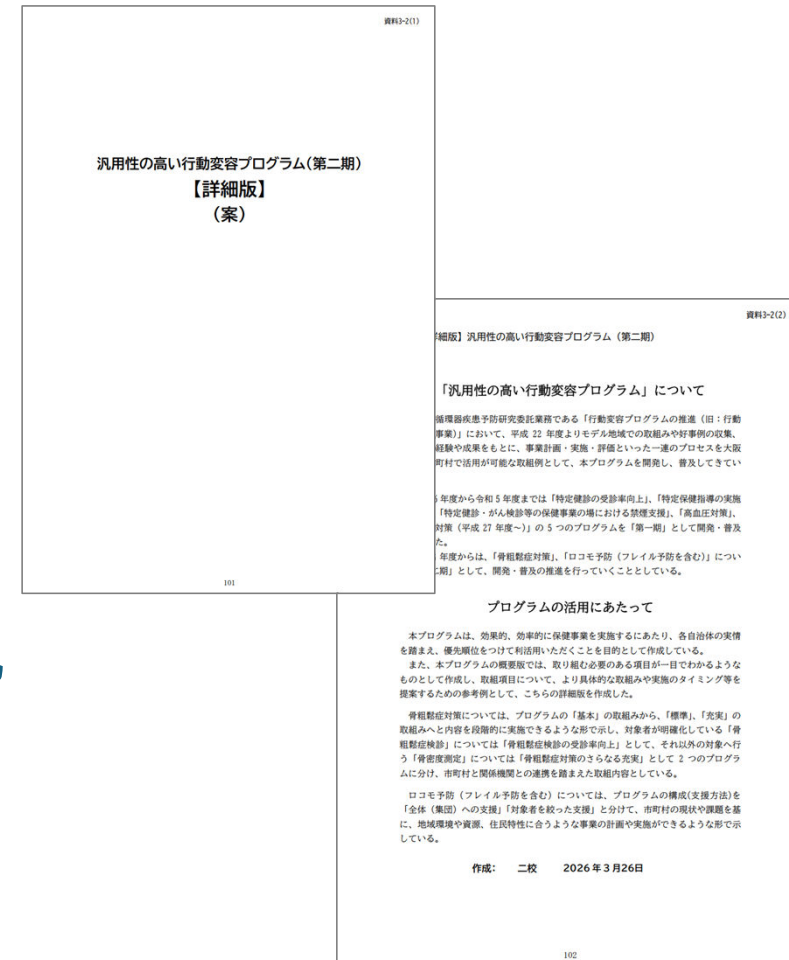
資料6、または、詳細を「行動変容プログラムの推進事業令和7年度報告書」にてご覧ください。

汎用性の高い行動変容プログラム(第二期・案)

• 骨粗鬆症対策

- 骨粗鬆症検診の受診率向上
- 骨粗鬆症対策のさらなる充実

⇒ 大阪市（モデル実施）、
その他の市町村のご担当者様から
お聞きした意見や各市町村の取組状況
(アンケート調査結果)を元に、
【詳細版】の記載を更新。
(概要版は更新なし)



令和8年度の予定

- 骨粗鬆症検診・骨密度測定の実態調査
(R7年度の実態調査のモニタリング、好事例収集)



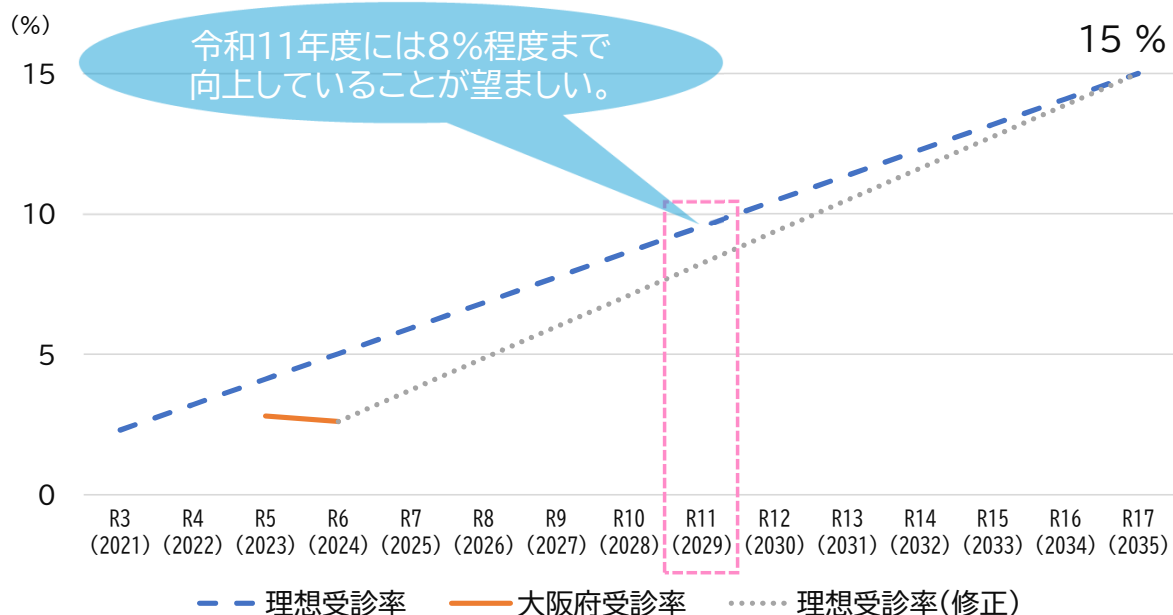
研修会(2026年秋頃)にR7年度実態調査の結果を報告

- モデル実施の事後評価等の実施、まとめ
- 汎用性の高い行動変容プログラム(第二期)の取りまとめ

今後の目標など

骨粗鬆症検診の受診率向上

【令和17年度までの大阪府骨粗鬆症検診受診率の理想の推移】



- まずは「検診」あるいは「測定」を受ける住民が増えるよう、普及・啓発や個別の受診勧奨を実施する。
- 「検診」あるいは「測定」を受けるためには、骨粗鬆症という疾患の理解や認知度を高めるため、より一層の普及・啓発が重要。
- 「検診」あるいは「測定」を受けた住民が、結果に応じて適切な対応をとれるように支援する。
- 各取組みを推進していくため、医師会等の関係機関との連携を強化する。